No.128
2024年5月

生き活きレポート

越谷市民ネットワーク

保護者も地域も

みんなで考えよう先生の長時間労働

教職員の長時間労働が問題となり、学校における働き方改革が進められています。
先生たちの負担が解消されなければ、教員のなり手不足にも拍車がかかり、本来子どもたちに向けられるべき時間や資源がますます減ってしまいます。保護者にとっても無関係な話ではなく、私たちも一緒に、本当に子どもや先生のためになる働き方改革とはなにか考えていく必要があります。

長時間労働の実態は

現在、教職員の超過勤務は1か月あたり45時間以下（1年で360時間以下）と定められています。

ところが、国が2022年度に実施した調査では、月45時間を超える学校は小学校で64.5%、中学校で77.1%にのぼりました。

これを受け、市教委でもタイムカードで超過勤務のチェックを行っていますが、2022年度の平均超過勤務時間は小学校で約36時間、中学校で約40時間で県平均を下回っていたそうです。

しかし、実際には夜遅くまで職員室の明かりが煌々とついている学校が多いのではないでしょうか。

授業以外の仕事を担うスクール・サポート・スタッフも、各校あたり1人しか配置されていないため負担軽減には程遠く、先生方の心身の健康が心配です。

子どもへのしわ寄せも心配

こうした中、市教委では教職員の働き方改革基本方針をつくり、配布物や連絡のICT化、行事の見直しや留守番電話対応など全校共通の取組みをすすめてきました。

しかし、超過勤務の大幅な削減は達成できておらず、授業や掃除、昼休みなどの日課を切り詰めることについて

も、各学校が検討せざるを得ない状況になってしまっています。

コロナ禍を経て、不登校をはじめ、複合的な問題を抱える家庭が増えている中、子どもたちに必要なのは急かされずに過ごせる時間や、気持ちに余裕を持って話を聴いてくれる先生方はじめ大人の存在ではないでしょうか。

子どもの意見を取り入れた働き方改革を

また、現場目線で働き方改革をすすめる上で最も大切なことは、当事者である子どもの意見です。

子どもを取り巻く様々な問題について、大人だけでなく子どもの意見を尊重すべきことは「子どもの権利条約」にも明記されています。

ネットは教職員の長時間労働について、国や県に待遇改善や教員増を求めるとともに、子どもが主体となって意見表明ができる機会もつくっていきたいと考えています。皆さんからのご意見をお待ちしています。

みんなのキモチを聞かせてね

給食の時間が短くて食べきれない…
もっと先生とお話ししたいな、など
学校で思っていることを教えてね。

親子で議会傍聴をしてきました

本庁舎7Fの議会事務局へ

受付で議案書をもらえます

ガラス張りの防音構造

2歳の娘と一緒に、代表質問を傍聴してきました。
本会議場の傍聴席は、一般席45席、車いすのスペース2台分と親子傍聴席があります。
親子傍聴席はガラス張りの防音構造になっていて、子どもが声を出しても議会に影響が無い為、気兼ねなく傍聴をする事が出来ました。
本庁舎7階の議会事務局にて住所と氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴出来ます。
市議会の活動に参加出来る身近な方法ですので、みなさん是非傍聴に行きましょう～

アンケートにご協力ください

今回のレポートでどの項目に関心を持ちましたか。〇をつけてください。

- みんなで考えよう先生の長時間労働
- 市長公約のケアラー支援条例 実現は？
- サンシティ計画の進捗は？
- 学校で火事があった時、防火設備、大丈夫？
- 通った！市民請願！裏金問題に市民の怒り沸騰
- 女性の権利を国際基準に
- ネットの視点
- 親子で議会傍聴をしてきました

その理由をお聞かせください。

県政・市政についての要望や気になっていることをご自由にお書きください

お詫び

越谷市民ネットワーク所属議員でありました辻浩司が不祥事により書類送検された件につきましては、大変遺憾であり、市民の皆様をはじめ、多くの方々にご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

私たちは、失われた信頼回復に努め、市民が主役の政治に取り組むべく日々活動に邁進してまいります。

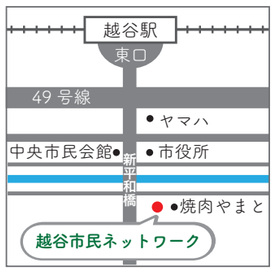
越谷市民ネットワーク

越谷市民ネットワーク議員

越谷市議会議員
山田 ゆう子
中町在住

越谷市議会議員
清水 泉
袋山在住

越谷市議会議員
大田 ちひろ
新越谷在住



市民ネット３つのルール
①任期は最長３期12年で交代
②選挙はカンパとボランティア
③議員報酬はみんなの活動費

お問い合わせ
越谷市民ネットワーク
〒343-0023越谷市東越谷1-5-17-1F
TEL/FAX　048-962-8052
E－MAIL　koshigaya.net@gmail.com